

CATS AND DOGS

- The "HENTAI" prince and the stony cat - unofficial fanbook

2



R18
ADULT ONLY



前回まで適当なあらすじ
 ついでにすっかり鋼鉄の王の胸を揉
 殺されなかつたにもかかわらず、
 「あ、これは夢なんだ」と
 思考停止する。

その結果、ここぞとばかりに性
 的に暴走してしまい、その最初
 の生贄に選ばれたのが、小豆梓
 だった。

保健室に呼び出された小豆梓は
 ささやかに抵抗するも、問答無
 用の横寺君によってレイプされ
 拳の果てに何度も膣内射精
 されてしまったのだった。

そして、そんな行為の一部始終
 を覗き見してしまつた少女――
 筒隠月子に次の魔の手が……





ね、姉さん？



ひっ



どうした
月子…？



あなたは
だんなは
ねむくなるー

え？



いえー
あ……

ど、どうした？
私が驚かせて
しまったのか？



我が術の前では
鋼鉄の王も
無力な小娘よ

ふふふ
他愛もない



ね、姉さん…
まさかそんな
子供だまして…

zzz…





え？
本当に
いいの？

クツクツ

姉さんの代わりに
私が務めます



ん…
は、はい…



それじゃ
遠慮無く—

スツ
スツ
○○○

そ、それくらいは
知ってます…



口を開いて
舌で舐めるんだよ
フェラチオって
いうんだ



よし、じゃあ
まずはこれを
舐めて貰おうかな



…え？



先ぱんぐんぐん！

じゃあ話早いね！
いくよ！



んんん!
ぐんむ……

な——

いくよ……
月子ちゃん——



ん……
こは……



横寺……
き、貴様……
何を……
わかって……
いるのか？



全部飲めた
ようだね
よかつたよ
月子ちゃん

けけほつ！
うけほつ！
あ……



つ、月子！
どうして
こんな……

ま、待て!

部長、起きましたか
でも邪魔しないで
くださいね
これは月子ちゃん
のお願いなんです
から

え?

横寺——
月子には
手を出すな

その代わりに
私がお前の
相手に
なつてやろう
好きにする
がいい

聞かされたら

ね、姉さん……
それじゃ私は
何のために……

すまない月子……
私はお前のためなら
この畜生にでも
身体を捧げてやろう……



「わ、わかった！
ご主人様！」

「あと横寺はやめて
ご主人様と
呼んでください」



「ひびき」

「さ、さて
私はどうしたら
いいんだ？
横寺……
きやつ！」

「まずは
月子ちゃん
と同じように
お口でこれを
舐めてください」



「ん……んん……」

「う……」

「ちゅ♡」



「ほら、もっと口を
開けて美味しそうに
舐めてくださいね」

「こんなものを……
美味しうに……
う……う……」

「月子ちゃんはもつと
上手かったですよ
口答えも多いし
やっぱり月子ちゃんに
してもらおうかなあ」

「ま、待て！」

「ピキヤ
ピキヤ」



う、うああ！
あああ！

あつ



ま、待て…横寺…
わ、私は初めて…で…
それだけは…
あつ！駄目だ！
そんなところ吸うな！
あつ！あつ！

でも僕はまだ
満足してないから
今度はこっちを
使わせて
もらいますね

うう…
横寺の…が…
うけっけホッ！
う、苦い…

パイズリと顔射も
いいものだなあ
小豆梓や
月子ちゃんじゃ
無理だじね



あ...ま、待て...
心の準備...が...
あ、あああ...

それじゃ
いきますよ

ひと
ぐちゃ



あ、ああ!
ひいつ!

う、痛っ...



だ、駄目だ横寺
そんなところ
す、吸わないで
く……れ……!!
あ、ああ!



あひっ
ああ!



ご主人様でしょ?
まったくもう
約束も守れないなら
お仕置きが
必要ですね

もっと激しく
膣奥を犯して
あげますよ

ああ

さ、ごだ、
様、ご駄目
主人!

ああ!



へえ…
随分と気持ち
よさそうです
ね
姉さん
先輩

っ、筒隠？
っ、月子？

ゴゴゴゴ

続けていいんです
これは独り言です
から二人で楽しんで
もいいんですよ？



な、私は
楽しんで
なんか…



っ、月子…？
何を言ってる…

だから先輩—
次は私に
お願いします

え？



それには…
お前のために…

いえ、姉さんばかり
先輩を独り占め—
いえ、
姉さんや梓さんだけが
先輩の性欲の犠牲に
なるのは私です
つらいのです



だから先輩
先に姉さん
をお願いします
私が押さえて
おきますから
後ろからどうぞ

つ、月子！
何を—
え、あ、ああ！



ちよっと
いくら夢でも
都合良すぎるかな？

月子ちゃん
本当にいいの？



はい
でもまだ姉さんが
満足していませんから



あ、ああ！
駄目だ！
こんなの…
つ、月子…！！

ひっ！

あ、ああ！



だめ!
ご主人様!

今度はちゃんと言えたら部長
ご主人様と
言えたら部長
ご褒美をたっぷり
あげますね部長

な、何を…
するつもりだ？

勿論僕の
精液ですよ
なかに
たっぷりとね

な、なかに？
あ、どこの中だ？
あああ！

ああっ！

ま、までー



かなり良かった
さよ部長

ふう...



あ

せ、先輩の...
なかに...
さま...す...

ズズ



そねはれじゃ
月子ちゃん
いにくよ...

は、はい...



ちゅ

びと



く…
月子ちゃんのは
かなり
きついね…

せ、先輩…
ひ、ああ!

月子ちゃんも
僕の子種
欲しいのかな?

まあ嫌って
いっても
出すんだけどね

…はい…
先輩のを私の
膣にも注ぎ込んで
ください…

妊娠
しちゃうかも
しれないよ?

はい…



そうだな
よくし—



これは先輩の夢
なんですから…
好きにして
ください…



はい…
先輩…私のここに
思う存分…
出してください…

そんななら
欲しいなら
おねだりなら
もらおうかな



偉いぞ
よく言えました

あ
ひっ
っ!

このまま
あげて
から
ね

はあ…
い…



んっ!

んん!



うっ—
つ、月子—
ちゃん!
あ、あああ!

先輩……!



じゃあ
そろそろ
いくよ—
月子ちゃん

は、はい…
あつ!はい…
あああつ!



うあ……



ひあつ
あああ!



ふえ…
せんば…い…？



先輩…
それはAVの
見過ぎです…

ピッ

ピッ

ゴホ

最後はこうして
精液が溢れてくる
ところを
見せないかね



さてと
そろそろ
目覚めると
するかな



永遠に
寝て
いぞ



それから
3時間後

ふう…
だした
もうさすがに
夢でも出ないや



2013 SEVENDAYSHOLIDAY